

町立病院からのお知らせ

①新制服を導入しました

今年のこの暑さの中、少しでも暑さを感じず動くことができるようにと考え、写真のような制服を導入しました。白衣だけではなく、写真のような制服を着用しておりますのでよろしくお願いします。



新制服

②相談室ができました

1階に安全管理室、健康相談室、栄養指導室ができました。何かありましたら、担当者(看護師・管理栄養士・理学療法士・保健師)が相談できる体制となっています。ぜひ気軽にご利用ください。



③研修会を行っています

町立病院では、各種の研修会を月1回以上開催しています。研修は院内のみならず、院外の研修会にも参加しています。9月は「オムツの当て方・選び方」をテーマに、夜間の眠りを妨げないようにするにはということで実施しました。

また今月は、院内看護研究の成果をまとめて、全国国保医療学会に2題発表予定です。

「看護に心を 患者さんに愛を」

この言葉を掲げながら、地域の病院として少しでも町民の皆さんの健康や保健活動に貢献できるようにと考えています。町の事業には必ず「救護」として参加し、健診事業や学校採血などにも、看護師が出かけています。お気軽に声をかけてください。

問い合わせ先 和歌山町立病院 ☎0968・86・3105

皆さん、お買い物には マイバッグを持参しましょう！

10月は九州統一マイバッグキャンペーンです。

買い物をするときは、マイバッグ(買い物袋)を持参し、マナーを守って楽しいライフスタイルをおくりましょう♪

Q.レジ袋はどのくらい使われているの？

A.レジ袋は、1年間に1人約230枚、日本中で約300億枚が消費されているといわれています。300億枚を原油に換算すると、ドラム缶279万本分に相当します。

Q.どうして「マイバッグ」なの？

A.レジ袋には、商品を持ち運ぶ、汚れなどからの保護といった役割があります。しかし、その役目を終えたレジ袋は、多くがごみとして処理されています。レジ袋は原油からできています。マイバッグを持参して、石油製品の消費を少なくすることが、未来の地球環境を救います。

町民の皆さんへ

お気に入りの袋、使い終わったレジ袋、風呂敷…どんな袋でもマイバッグとして使えます。普段使うかばんの中にマイバッグを入れておくと、お買物のときにすぐに使えます。お買物のときは、「マイバッグ、持ってます」「レジ袋はいりません」と伝えましょう。

事業者の皆さんへ

レジ袋削減・マイバッグ持参運動の推進には、お店の協力が不可欠です。レジで「レジ袋ありますか？」「マイバッグお持ちですか？」と声をかけたり、啓発のポスター掲示やチラシ配布など、できることから始めてください。

マイバッグでのお買い物マナー

～万引きと思われないように～

①商品はお店のカゴに入れましょう！

②マイバッグはたたんだままで(たためないものはバッグの口を閉じる)、清算が済んでから使用しましょう！

③お店のカゴは元の場所へ戻しましょう！

問い合わせ先 本庁 税務住民課 生活環境係 ☎0968・86・5723
総合支所 住民課 住民生活係 ☎0968・34・3111(内線751)